



2017年11月12日撮影

お地蔵さんのやしろ社の修理

台風21号の嵐が通り過ぎた翌日、「比叡平一丁目の三角公園にあるお地蔵さんのやしろ社が壊れていますよ」という連絡がありました。行ってみれば、トタン屋根と壁板が散乱しているではありませんか。土台の材木が朽ちていて修理不可能のように思われました。一丁目自治会役員の「大工の棟梁」氏と相談しながら、「この際、一丁目自治会でなんとかしましょう。しかしその前にこのお地蔵さんのルーツも調べてみなければなりませんね」という話になりました。

ルーツ探索を開始。古くから住んでおられる方々に事情を尋ねました。情報を収集。嬉しかったことは、1988年発行の比叡平小学校の社会科教科書・郷土読本『わたしたちの山中比叡平』を一丁目自治会の方から貸してもらったことでした。それは29年前のいわば絶版貴重本です。それによれば、この三角公園には二体の神仏が置かれていました。「おにぎりかきもりだいみょうじんのような形をした」「うめもりだいみょうじん笠守大明神、梅守大明神」です。前者は五穀豊穰、商売繁盛、皮膚病平癒の神、後者は梅の木の成長を見守る神です。当のお地蔵さんは、そのどちらに属するか不明ですが、私にはこのお地蔵さんは両者の力量を兼ね備えているように思えてなりません。昔はこの地に農民が沢山の梅の木を植えていたとのこと。今でも梅の木が散見されます。農民の方は、五穀豊穰を願って、このお地蔵さんに祈ったのではないかと思います。

す。

さてルーツ探索はここまで。そうこうしているうちにバラバラだったお地蔵さんの社が、「大工の棟梁」氏によって、しっかりとねじで留められ、修理されました。極めつけは、新品になった土台です。真新しいきれいな木製の土台の上にお地蔵さんの家がしっかりと固定されました。台風が来てももう大丈夫です。

11月11日夕方、一時引越していたお地蔵さんは、お酒を浴びてから、軽トラックに乗せられ、修理された社に戻ってきました。何だかお地蔵さんはニコニコ笑っているように思われました。

文責：大木文雄

